

# 講演者プロフィール



## パク・スックチャ 氏

アパショナータ, Inc  
代表&コンサルタント

専門： ・ダイバーシティ（多様性）  
・アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）  
・ワークライフバランス  
・テレワーク（在宅勤務）

日本生まれ，韓国籍。

米国ペンシルバニア大学経済学部B A（学士）、シカゴ大学M B A（経営学修士）取得。

米国と日本で米国系企業に勤務後、日本に戻り米国系運輸企業に入社。同社にて日本・香港・シンガポール・中国など、太平洋地区での人事，スペシャリストおよび管理職研修企画・実施を手がける。

2000年に退社し、日本で最初にワークライフバランスを推進するコンサルタントとして独立。同時に米国とアジアに精通したグローバルな経験を活かし、グローバル化と複雑化する多様性への適切な対応に向けダイバーシティの専門家として、多様な人材マネジメントと受容的環境構築（インクルージョン）への意識・風土改革及び教育研修に携わる。

企業にメリットをもたらす手法を進める在宅勤務導入コンサルティングで成功実績を出し、企業での在宅勤務（テレワーク）も専門とする。

近年では「偏見（バイアス）」と「自信」への問題意識を高めるべく、教育、講演、執筆等の普及活動及び組織での意識改革と行動変革にも力を注ぐ。

- ・東洋大学「国際学部」ニューエリート育成アドバイザーボード委員（2015年～2016年）
- ・一般社団法人 企業研究会「ダイバーシティ&ワークライフバランス推進フォーラム」研究協力委員（2015年～2018年）
- 経済産業省「ダイバーシティ経営企業100選」サポーター
- ・経済産業省「企業活力とダイバーシティ推進に関する研究会」委員（2012年）
- ・公益財団法人 日本生産性本部「次世代のための民間運動～ワークライフバランス推進会議～」推進委員（2012年～2015年）
- ・第1回『ワークライフバランス大賞』貢献活動分野での【特別賞】受賞
- ・厚生労働省主催「仕事と生活の調和推進モデル事業」委員

**著書：**

「アジアで稼ぐ『アジア人材』になれ」（朝日新聞出版）

「会社人間が会社をつぶすーワークライフバランスの提案」（朝日選書）

**共著：**

「CSR「働きがい」を束ねる経営」日経CSRプロジェクト編（日本経済新聞社）

**<講師メッセージ>**

近年ダイバーシティ分野において、アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）が注目されています。アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）とは「自分自身が気づかずに持つ偏った見方・考え方」。人間は皆持っているのですが、判断や行動に望ましくない影響を与えることが確認されています。ダイバーシティが進む欧米で問題意識が高まり、ジェンダー、年齢、国籍、LGBTなどへの偏見の影響を抑えるためにさまざまな取り組みが進むようになりました。その潮流は日本にも波及し、取り組む組織が増えています。

講演では、アンコンシャス・バイアスがどのようなものかを紐解きながら、わかりやすい具体例やワークも含めインタラクティブに学んでいきます。

以上